

各地区連合会長 様
各自治会町内会長 様

青葉区長 小澤 明夫

年末年始における新型コロナウイルス感染症の拡大防止について（依頼）

日頃より青葉区の区政運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

全国的に新型コロナウイルス感染の「第 3 波」が発生し、横浜市内でも大変厳しい状況となっております。青葉区においても、12 月 18 日の時点でこれまで 592 名の方の感染が確認されており、これは市内 18 区中で 4 番目に多い数字となっております。

○感染リスクが高まる 5 つの場面

さらなる感染拡大を防止するためには、新たなクラスターの発生や連鎖を防ぐことが非常に重要となります。特に年末年始は、飲酒を伴う会食等の機会が増えるため、**「感染リスクが高まる 5 つの場面」（別添資料参照）**を意識して過ごすことが大切です。

自治会町内会に関わる皆様には、これまで各種行事の中止や開催方法の変更など、例年とは異なる様々なご対応をいただいておりますが、すでに取り組んでいただいている基本的な感染予防対策である「手洗い」「マスクの着用」「3 密回避」「室内の換気」等に加え、新たなクラスター発生防止へのご協力をお願いいたします。

○感染が疑われる場合

まずはかかりつけ医等に電話で相談していただき、かかりつけ医がいない場合や受診ができないときは、別添資料記載の**「神奈川県発熱等診療予約センター」（TEL：0570-048914 受付時間：9 時～21 時）**または**「横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター」（TEL：045-550-5530 fax：045-846-0500 受付時間：24 時間対応）**へご相談ください。

○青葉区休日急患診療所

年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）も**青葉区休日急患診療所（所在地：市ヶ尾町 31-21 TEL：045-973-2707 診療時間：9 時～12 時、13 時～16 時）**は診療を行っています。詳細は電話で直接お問い合わせください。

爆発的な感染拡大を抑えるためには、区民の皆様お一人おひとりのお力が欠かせません。青葉区役所といたしましても、皆様と一緒にこの状況を乗り越えてまいりたいと存じますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

〔裏面あり〕

【参考（別添資料）】

- ・感染リスクが高まる「5つの場面」（出典：内閣官房HPより）
- ・新型コロナウイルス感染症には、基本的な感染予防対策が有効です（市作成チラシ）

担当：青葉区地域振興課地域活動係

電 話 978-2291

FAX 978-2413

担 当 奥村、中溝

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



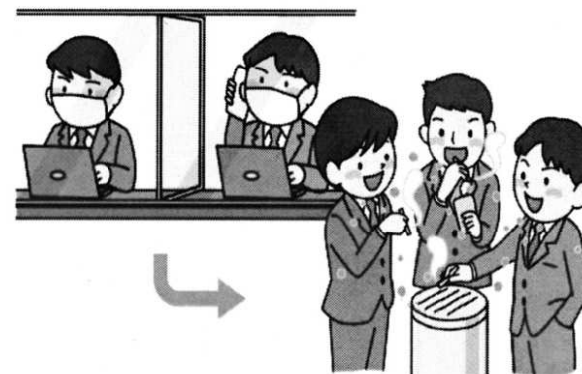
場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



新型コロナウイルス感染症には、 基本的な感染予防対策が有効です



こまめに手を洗う

帰宅時や調理の前後、食事前などに
せっけんを使って洗いましょう。
アルコール消毒も有効です。



マスクをつける

外出時や屋内でも会話するときは、可能な限
り真正面を避け、人との間隔がとれない場合
は、症状がなくてもマスクをつけましょう。



3密を避ける
※家庭内でも

1. 換気の悪い密閉空間
2. 大人数・狭い空間などの密集した場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面 を避けましょう

風邪のような症状で受診の際は、まずは、かかりつけ医等に電話で相談してください

かかりつけ医が
いない場合や、
受診ができない
ときは・・・

発熱・咳・のどの痛みの
いずれかの症状のある方

発熱・咳・のどの痛み以外の症状
その他のご相談など

神奈川県発熱等診療予約センター

☎ 0570-048914 (9時～21時)

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター

24時間対応 ☎ 550-5530 FAX 846-0500

※ 17時以降や休日はご案内可能な医療機関が限られ、翌日以降のご案内となる場合があります。
取り急ぎ受診が必要な際には、連絡の上救急医療機関を受診いただくか、特に緊急の場合は救急搬送を要請してください。